

令和元年度(2019年度)

管理事業名	保健所設置事業			総合計画の体系	大綱 3 政策 4 施策 1	福祉・健康 健康医療のまちづくり 健康づくりの推進
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 1 保健衛生総務費
部局名	健康医療部	予算執行所属	保健所設置準備室 (保健医療室)			
予算大事業名 保健所設置事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 中核市移行に伴う保健所の設置に向け、大阪府への職員派遣を増員するとともに、保健所施設の整備や初年度調弁物の購入等を行うなど、業務移管に必要な手続き等を進め、令和2年4月に保健所を開設します。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
大阪府に派遣した研修生	人		4	18	大阪府に研修生として派遣された職員数
施設の改修費やシステム開発費等	万円		0	6,796	保健所開設に向け施設改修・整備及びシステム開発・更新等を行いました。
成果の説明	円滑な保健所業務の移管に向け、平成30年度から大阪府への派遣研修を開始する中で、令和元年度は新たな専門職(獣医師、薬剤師、精神保健福祉士、管理栄養士)や事務職を含め、派遣研修生数を4人から18人に増員しました。また、保健所敷地内にある犬舎の改修や業務に必要なシステムの開発、電話交換機設置等、業務移管に必要な手続き等を進め、令和2年4月に保健所を開設しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	12,300	12,300
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	-	12,300	12,300
給与関係費	-	72,219	172,403	100,185
物件費	-	381	44,173	43,791
維持補修費	-	-	23,787	23,787
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	26	26
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	14	14
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	6,531	15,645	9,115
退職手当引当金繰入額	-	73,446	94,057	20,611
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	152,576	350,105	197,529
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	△152,576	△337,805	△185,229
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	△152,576	△337,805	△185,229
一般財源充当額	-	79,574	248,306	168,733
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	△73,002	△89,499	△16,497

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費等	派遣研修生14人増員により、給与等の増額による(100,185千円の増)。
物件費	システム開発・更新委託料(28,424千円)等の執行による。
維持補修費	犬舎改修工事費(16,921千円)、電話交換機設置工事費(5,434千円)、道路案内標識改修工事費(957千円)、案内板等設置改修工事(475千円)の執行による。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	12,300	12,300
行政サービス活動支出	-	79,574	260,592	181,018
行政サービス活動収支差額	-	△79,574	△248,292	△168,718
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	14	14
財務活動収支差額	-	-	△14	△14
収支差額 合計	-	△79,574	△248,306	△168,733
一般財源充当額	-	79,574	248,306	168,733
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動支出)職員増による人件費(100,185千円の増)、システム開発・更新委託料(28,424千円)及び保健所施設の改修・整備等(23,787千円)。
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成29年度	370,072 人	- 円	職員増による人件費(100,185千円の増)、システム開発・更新委託料(28,424千円)及び保健所施設の改修・整備等(23,787千円)。
	平成30年度	371,030 人	411 円	
	令和元年度	373,978 人	903 円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	6,531	16,241	9,710
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	6,531	15,645	9,115
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	595	595
其他流動資産	-	-	-	其他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	3,558	3,558	固定負債	66,472	149,818	83,346
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	3,558	3,558	退職手当引当金	66,472	146,856	80,384
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	2,962	2,962
無形固定資産	-	-	-	其他固定負債	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	73,002	166,059	93,057
有形固定資産	-	-	-	純資産	△73,002	△162,501	△89,499
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
其他債権	-	-	-				
資産の部合計	-	3,558	3,558	純資産の部合計	△73,002	△162,501	△89,499
				負債及び純資産の部合計	-	3,558	3,558

Ⅲ 財務構造分析

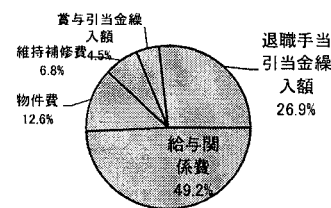
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	23.58 人				282,105
給与関係費等	282,105 千円				282,105
内、時間外勤務手当	3,176 千円				

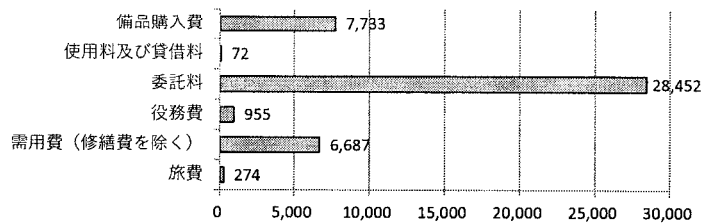
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
退職手当引当金	職員(派遣研修生)14人増員による退職手当引当金(80,384千円の増)
賞与引当金	職員(派遣研修生)14人増員による賞与引当金(9,115千円の増)

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	100.0	95.3	△ 4.7

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

事業に係るコスト全体の76.1%が人件費、12.6%が物件費です。物件費のうち、64.4%が委託費、15.1%が需要費です。事業の財源は、全て一般財源です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

令和2年4月1日付、吹田市保健所開設により本事業は廃止となりました。